

## I 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、人が継続的に摂取した場合に健康を損なうことが懸念される物質であることから、県及び大気汚染防止法に定める政令市（さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市）では、大気汚染防止法に基づき、平成9年10月からモニタリング調査を実施している。

### 1 調査地点

県は、全国標準監視地点6地点（表I-1）で、政令市は、全国標準監視地点7地点、地域特設監視地点10地点の計17地点（表I-2）で調査を実施した（図I-1）。

表I-1 県調査地点

地点区分	地域分類 (旧区分)	地点名	試料採取場所	所在地
全国標準監視地点	一般環境	熊谷測定局	熊谷市役所	熊谷市宮町2-47-1
		東松山測定局	五領町近隣公園	東松山市五領町8
		春日部市役所	春日部市役所	春日部市中央6-2
		環境科学国際C測定局	環境科学国際センター	加須市上種足914
	沿道	草加市花栗自排測定局	花栗中学校	草加市花栗4-15-12
		戸田美女木自排測定局	西部福祉センター	戸田市美女木5-2-16

表 I - 2 政令市調査地点

政令市名	地点区分	地域区分 (旧区分)	地点名
さいたま市	全国標準監視地点	一般環境	さいたま市役所測定局
		沿 道	三橋自排測定局
	地域特設監視地点	一般環境	大宮区役所
			健康科学研究センター
			城南測定局
		岩槻測定局	
沿 道	曲本自排測定局		
	大和田自排測定局		
川越市	全国標準監視地点	一般環境	川越測定局
			高階測定局
川口市	全国標準監視地点	一般環境	南平測定局
	地域特設監視地点		芝測定局
			石神配水場
	沿 道	神根測定局	
所沢市	全国標準監視地点	一般環境	北野測定局
	地域特設監視地点	沿 道	和ヶ原測定局
越谷市	全国標準監視地点	一般環境	東越谷測定局



### 3 調査方法

本調査は、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」に従い、表 I-3 に示す方法で行った。

表 I-3 調査方法一覧

調査対象物質	調査方法
揮発性有機化合物 (VOC)	容器採取 (減圧採取装置) - GC/MS 法
アルデヒド類	固相捕集 - HPLC 法
酸化エチレン	固相捕集 - 溶媒抽出 - GC/MS 法
ベンゾ[a]ピレン	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 超音波抽出 - HPLC 法
水銀及びその化合物	金アマルガム捕集 - 加熱気化冷原子吸光法
その他の重金属類	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 誘導結合プラズマ質量分析法

#### (1) 試料採取方法

各物質とも以下に示す方法で毎月 1 回 24 時間連続採取した。また、精度管理のためにトラベルブランク 3 試料と二重測定 1 試料を月ごとに地点を変えて採取した。

##### ① VOC

あらかじめ減圧にしたキャニスタに定流量制御装置を接続して、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を採取した。

##### ② アルデヒド類

オゾンスクラバを前段に接続した 2,4-DNPH 捕集管に、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を吸引し捕集した。

##### ③ 酸化エチレン

グラファイトカーボン系吸着剤を臭化水素酸に含浸させ乾燥させたものを充填した捕集管に直接大気試料を通気し、酸化エチレンを誘導体化して 2-ブロモエタノールとして捕集した。

##### ④ 水銀及びその化合物

珪藻土粒子等の表面に金を焼き付けした捕集剤を充填した捕集管を用いて大気を吸引し、水銀を金アマルガムとして捕集した。

##### ⑤ ベンゾ[a]ピレン及びその他の重金属類

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

## (2) 分析方法

各物質は以下に示す方法に従い分析を行った。分析に当たっては、操作ブランク試験、トラベルブランク試験、分析装置の感度試験、二重測定試験及び定量下限値測定を実施して測定の信頼性を評価し、適宜再測定又は測定値の補正を行った。

### ① VOC

試料を試料導入装置で低温濃縮した後、GC/MS法により分析した。

### ② アルデヒド類

誘導体として捕集管に採取した試料をアセトニトリルで抽出し、HPLC法により分析した。

### ③ 酸化エチレン

誘導体として捕集管に採取した試料をトルエン/アセトニトリルで抽出し、GC/MS法により分析した。

### ④ ベンゾ[a]ピレン

ろ紙試料の適量についてジクロロメタンを用いて超音波抽出を行い、HPLC法により分析した。

### ⑤ 水銀及びその化合物

捕集管を加熱し、気化した原子状水銀を原子吸光法により分析した。

### ⑥ その他の重金属類

ろ紙試料の1/4を圧力容器法による前処理を行い、誘導結合プラズマ質量分析法により分析した。

## 4 調査結果

各物質の地点別年平均濃度を表I-4～7に示す。

なお、検出下限値未満の測定値が得られた月については検出下限値の1/2の濃度として取り扱った。

表I-8に環境基準達成率の推移を、表I-9に国内外の環境基準値や指針値等を示す。

令和3年度の測定結果を環境基準及び指針値と比較すると、全ての地点で環境基準及び指針値を下回っていた。

表 I - 4 各物質の地点別年平均濃度（県調査地点）

物質名・単位	地点名	全国標準監視地点					
		一般環境				沿道	
		熊谷測定局	東松山測定局	春日都市役所	環境科学国際C 測定局	草加市花栗自排 測定局	戸田美女木自排 測定局
ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.97 (0.90)	0.93 (0.89)	1.0 (0.87)	0.98 (0.83)	1.2 (1.1)	1.1 (0.97)
トリクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.52 (0.60)	0.56 (0.60)	0.76 (0.74)	0.81 (1.0)	0.93 (1.3)	1.2 (1.4)
テトラクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.065 (0.098)	0.078 (0.16)	0.093 (0.10)	0.067 (0.10)	0.10 (0.23)	0.23 (0.48)
ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	1.8 (1.9)	2.8 (3.2)	2.0 (3.1)	3.2 (2.7)	2.4 (1.8)	2.5 (2.0)
アクリロニトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.055 (0.052)	0.075 (0.055)	0.065 (0.049)	0.046 (0.037)	0.063 (0.054)	0.076 (0.050)
塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.029 (0.013)	0.023 (0.017)	0.040 (0.019)	0.033 (0.014)	0.028 (0.028)	0.025 (0.022)
クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.17 (0.17)	0.19 (0.18)	0.19 (0.17)	0.22 (0.18)	0.21 (0.18)	0.24 (0.26)
1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.15 (0.13)	0.15 (0.13)	0.13 (0.13)	0.12 (0.13)	0.14 (0.13)	0.13 (0.13)
1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.052 (0.047)	0.062 (0.057)	0.065 (0.067)	0.051 (0.050)	0.15 (0.085)	0.13 (0.082)
塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	1.8 (2.0)	1.6 (1.6)	1.6 (1.6)	1.7 (1.9)	1.7 (1.5)	1.6 (1.6)
トルエン	μg/m <sup>3</sup>	7.8 (16)	9.0 (12)	9.4 (12)	11 (29)	11 (16)	20 (18)
キシレン類	μg/m <sup>3</sup>	1.6 (2.5)	1.8 (2.8)	2.2 (2.8)	2.4 (8.0)	2.4 (3.3)	3.0 (4.3)
アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	1.8 (1.6)	1.9 (1.7)	2.4 (1.8)	1.8 (1.5)	2.3 (1.6)	2.1 (1.5)
ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	3.3 (2.6)	3.5 (2.6)	4.2 (2.9)	3.1 (2.4)	3.5 (2.4)	3.6 (2.4)
酸化エチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.080 (0.079)	0.058 (0.061)	0.082 (0.078)	0.096 (0.068)	0.070 (0.068)	0.071 (0.060)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.069 (0.057)	0.092 (0.095)	0.090 (0.10)	0.079 (0.085)	0.13 (0.14)	0.13 (0.12)
クロム及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	3.2 (2.6)	3.1 (3.0)	2.7 (2.8)	2.6 (2.3)	3.8 (4.3)	6.2 (6.9)
水銀及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	2.0 (2.2)	2.1 (2.1)	1.9 (1.8)	1.9 (1.9)	2.1 (1.9)	2.0 (1.9)
ニッケル 化合物	ng/m <sup>3</sup>	2.2 (1.6)	2.2 (1.9)	2.4 (1.8)	2.4 (1.6)	3.0 (2.7)	3.9 (2.9)
ヒ素及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.64 (0.74)	0.67 (0.74)	0.69 (0.80)	0.66 (0.76)	0.77 (0.91)	0.79 (0.95)
ベリリウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.006 (0.008)	0.006 (0.009)	0.006 (0.008)	0.006 (0.009)	0.006 (0.010)	0.006 (0.013)
マンガン及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	16 (18)	15 (17)	16 (18)	14 (17)	16 (24)	22 (37)
亜鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	40 (49)	47 (44)	57 (48)	41 (40)	65 (78)	110 (95)
バナジウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.8 (1.6)	1.6 (1.7)	1.4 (1.6)	1.3 (1.6)	1.5 (2.1)	1.9 (2.9)
カドミウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.14 (0.13)	0.15 (0.12)	0.15 (0.15)	0.14 (0.17)	0.15 (0.16)	0.16 (0.14)
鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	4.3 (4.8)	4.2 (5.0)	5.3 (5.2)	4.5 (4.4)	7.9 (8.4)	7.2 (6.8)
浮遊粉じん	μg/m <sup>3</sup>	30 (34)	33 (36)	31 (33)	28 (32)	38 (45)	45 (54)

上段は令和3年度、下段( )内は令和2年度の値を表す

表 I - 5 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点①）

物質名・単位		さいたま市							
		全国標準監視地点		地域特設監視地点					
		一般環境	沿道	一般環境				沿道	
		さいたま市役所 測定局	三橋自排 測定局	大宮区役所	健康科学研究 センター	城南測定局	岩槻測定局	曲本自排 測定局	大和田自排 測定局
ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.72 (0.69)	0.88 (0.84)	0.70 (0.65)	0.72 (0.69)	0.74 (0.69)	0.71 (0.71)	0.83 (0.82)	0.79 (0.81)
トリクロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.81 (0.55)	0.98 (0.80)	0.77 (0.54)	0.79 (0.57)	1.3 (0.81)	0.85 (0.74)	-	-
テトラクロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.12 (0.11)	0.073 (0.090)	0.081 (0.088)	0.098 (0.11)	0.081 (0.085)	0.10 (0.081)	-	-
ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	1.7 (1.3)	1.8 (1.5)	1.6 (1.2)	1.8 (1.8)	1.7 (1.8)	2.1 (1.6)	-	-
アクリロトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.027 (0.026)	0.033 (0.025)	0.026 (0.025)	0.029 (0.025)	0.030 (0.024)	0.026 (0.023)	-	-
塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.013 (0.016)	0.015 (0.013)	0.014 (0.015)	0.015 (0.014)	0.025 (0.013)	0.031 (0.013)	-	-
クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.18 (0.19)	0.16 (0.17)	0.17 (0.17)	0.19 (0.19)	0.16 (0.17)	0.15 (0.16)	-	-
1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.16 (0.098)	0.18 (0.098)	0.18 (0.094)	0.16 (0.094)	0.20 (0.22)	0.19 (0.093)	-	-
1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.060 (0.040)	0.090 (0.072)	0.054 (0.040)	0.077 (0.043)	0.051 (0.041)	0.039 (0.050)	0.099 (0.073)	0.059 (0.061)
塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	1.6 (1.6)	1.6 (1.6)	1.6 (1.6)	1.6 (1.5)	1.7 (1.6)	1.7 (1.6)	-	-
トルエン	μg/m <sup>3</sup>	7.9 (6.6)	8.2 (7.3)	7.7 (6.5)	7.5 (6.7)	12 (7.6)	18 (12)	19 (28)	9.0 (8.3)
キシレン類	μg/m <sup>3</sup>	0.93 (0.91)	1.1 (1.2)	0.99 (1.2)	1.0 (1.1)	1.1 (1.1)	1.1 (1.0)	1.3 (3.9)	1.0 (1.4)
アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	3.0 (2.4)	2.8 (2.2)	-	3.2 (2.4)	-	-	3.4 (2.6)	2.5 (2.2)
ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	2.9 (2.4)	2.8 (2.3)	-	4.6 (3.6)	-	-	3.8 (3.2)	2.4 (2.2)
酸化エチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.098 (0.070)	0.094 (0.069)	-	0.10 (0.067)	-	-	-	0.097 (0.081)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.11 (0.094)	0.12 (0.11)	-	0.11 (0.089)	-	-	0.13 (0.11)	0.11 (0.11)
クロム及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	4.1 (2.8)	4.3 (3.3)	3.9 (2.9)	4.6 (3.0)	-	-	-	-
水銀及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	2.0 (1.9)	2.1 (2.0)	-	-	-	-	-	-
ニッケル 化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.6 (1.7)	2.1 (2.1)	1.8 (1.9)	1.8 (1.7)	-	-	-	-
ヒ素及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.0 (1.1)	0.94 (1.1)	0.92 (1.1)	1.1 (1.2)	-	-	-	-
ベリリウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.013 (0.017)	0.018 (0.020)	0.014 (0.017)	0.016 (0.020)	-	-	-	-
マンガン及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	19 (20)	22 (25)	21 (24)	20 (23)	-	-	-	-
亜鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	69 (55)	72 (70)	80 (69)	65 (55)	-	-	-	-
バナジウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.7 (2.0)	2.2 (2.5)	1.7 (2.0)	1.7 (2.2)	-	-	-	-
カドミウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.22 (0.16)	0.22 (0.17)	0.21 (0.17)	0.21 (0.16)	-	-	-	-
鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	7.4 (5.3)	7.7 (6.1)	7.7 (5.6)	6.9 (5.7)	-	-	-	-
浮遊粉じん	μg/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-

上段は令和3年度、下段( )内は令和2年度の値を表す

表 I - 6 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点②）

物質名・単位	地点名	川越市		川口市			
		全国標準監視地点		全国標準監視地点	地域特設監視地点		
		一般環境		一般環境			沿道
		川越測定局	高階測定局	南平測定局	芝測定局	石神配水場	神根測定局
ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.75 (0.76)	0.75 (0.72)	0.84 (0.68)	0.74 (0.64)	-	0.83 (0.71)
トリクロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.75 (0.59)	0.98 (0.81)	2.4 (1.8)	0.66 (0.44)	-	-
テトラクロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.11 (0.091)	0.12 (0.10)	0.60 (0.55)	0.084 (0.065)	-	-
ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	3.6 (2.4)	3.6 (2.2)	2.6 (1.8)	1.7 (1.1)	-	-
アクリロニトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.041 (0.012)	0.16 (0.025)	0.037 (0.034)	0.020 (0.032)	-	-
塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.014 (0.0066)	0.013 (0.0067)	0.0076 (0.046)	0.0063 (0.031)	-	-
クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.16 (0.19)	0.17 (0.26)	0.23 (0.18)	0.17 (0.17)	-	-
1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.21 (0.10)	0.19 (0.11)	0.094 (0.14)	0.10 (0.13)	-	-
1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.098 (0.041)	0.14 (0.040)	0.077 (0.060)	0.048 (0.046)	-	0.056 (0.063)
塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	1.4 (1.4)	1.4 (1.4)	1.5 (1.3)	1.5 (1.3)	-	-
トルエン	μg/m <sup>3</sup>	9.2 (8.8)	8.4 (7.6)	19 (11)	7.7 (5.1)	-	9.9 (5.4)
キシレン類	μg/m <sup>3</sup>	2.0 (1.9)	2.3 (2.2)	-	-	-	-
アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	2.8 (2.2)	2.6 (2.1)	2.9 (3.2)	2.6 (2.2)	3.1 (4.9)	2.7 (5.0)
ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	3.3 (3.1)	3.1 (2.9)	2.9 (3.2)	2.6 (2.2)	2.9 (4.8)	2.4 (4.7)
酸化エチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.056 (0.076)	0.060 (0.082)	0.087 (0.058)	0.076 (0.057)	-	-
ベンゾ[a]ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.12 (0.11)	0.12 (0.078)	0.098 (0.17)	0.076 (0.12)	0.10 (0.15)	0.12 (0.21)
クロム及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	3.7 (4.2)	3.2 (3.0)	4.1 (5.7)	2.3 (2.5)	3.2 (4.1)	-
水銀及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.7 (1.8)	1.8 (1.8)	1.5 (1.6)	1.6 (1.8)	-	-
ニッケル 化合物	ng/m <sup>3</sup>	8.9 (6.4)	2.2 (1.9)	1.6 (2.8)	1.1 (2.2)	1.2 (2.3)	-
ヒ素及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.88 (1.1)	0.88 (1.0)	0.46 (0.74)	0.45 (0.85)	0.41 (0.70)	-
ベリリウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.016 (0.021)	0.018 (0.021)	0.0080 (0.050)	0.0089 (0.10)	0.0073 (0.051)	-
マンガン及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	18 (22)	21 (25)	11 (34)	8.4 (30)	8.6 (23)	-
亜鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
バナジウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
カドミウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
浮遊粉じん	μg/m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-

上段は令和3年度、下段( )内は令和2年度の値を表す



表 I - 7 各物質の地点別年平均濃度（政令市調査地点③）

物質名・単位	地点名	所沢市		越谷市
		全国標準 監視地点	地域特設 監視地点	全国標準 監視地点
		一般環境	沿道	一般環境
		北野測定局	和ヶ原測定局	東越谷測定局
ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.76 (0.81)	0.88 (0.90)	0.81 (0.72)
トリクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	1.6 (0.84)	-	0.81 (0.67)
テトラクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.070 (0.087)	-	0.082 (0.085)
ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	1.4 (1.6)	-	5.3 (3.5)
アクリロニトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.028 (0.030)	-	0.033 (0.018)
塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.012 (0.018)	-	0.027 (0.015)
クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.18 (0.16)	-	0.18 (0.16)
1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.12 (0.11)	-	0.17 (0.085)
1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.075 (0.085)	0.11 (0.12)	0.11 (0.082)
塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	1.6 (1.6)	-	1.8 (1.6)
トルエン	μg/m <sup>3</sup>	7.8 (8.7)	9.6 (9.1)	8.8 (7.8)
キシレン類	μg/m <sup>3</sup>	1.3 (1.8)	1.4 (2.2)	1.2 (1.1)
アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	2.9 (2.6)	3.2 (2.5)	2.4 (2.2)
ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	2.6 (3.4)	3.9 (3.6)	2.8 (2.9)
酸化エチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.054 (0.051)	-	0.070 (0.059)
ベンゾ[a]ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.12 (0.071)	0.13 (0.090)	0.11 (0.14)
クロム及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	3.3 (1.9)	-	7.2 (8.8)
水銀及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.8 (1.6)	-	1.7 (1.6)
ニッケル 化合物	ng/m <sup>3</sup>	2.0 (1.2)	-	1.6 (2.1)
ヒ素及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.63 (0.51)	-	0.76 (0.94)
ベリリウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.0060 (0.014)	-	0.0056 (-)
マンガン及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	14 (12)	-	17 (21)
亜鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	35 (20)	-	-
バナジウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	1.4 (1.4)	-	-
カドミウム及 びその化合物	ng/m <sup>3</sup>	0.16 (0.074)	-	-
鉛及び その化合物	ng/m <sup>3</sup>	4.3 (3.4)	-	-
浮遊粉じん	μg/m <sup>3</sup>	-	-	-

上段は令和3年度、下段( )内は令和2年度の値を表す

表 I - 8 環境基準達成率の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
ベンゼン	17.4% (4/23)	43.5% (10/23)	73.9% (17/23)	70.8% (17/24)	95.8% (23/24)	95.8% (23/24)	100% (24/24)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (26/26)	100% (26/26)
トリクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
テトラクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
ジクロロメタン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
(つづき)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ベンゼン	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (22/22)
トリクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
テトラクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
ジクロロメタン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)

上段：環境基準達成率

下段：(達成地点数/測定地点数)

ジクロロメタンの平成10年～12年の数値は、平成13年4月に設定された環境基準と比較した場合の参考値

表 I - 9 国内外の環境基準、指針値等

物質名	基準値等 (※ 評価は、年平均値との比較で行う。)			
	環境基準 (※1)	指針値 (※2)	EPA (※3)	WHO (※4)
ベンゼン	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	1.3~4.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
テトラクロロエチレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ジクロロメタン	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—	3000 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
アクリロニトリル	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化ビニルモノマー	—	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化メチル	—	94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—
クロロホルム	—	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
1,2-ジクロロエタン	—	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	700 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
1,3-ブタジエン	—	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
アセトアルデヒド	—	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
ホルムアルデヒド	—	—	0.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ベンゾ[a]ピレン	—	—	—	0.12 $\text{ng}/\text{m}^3$
水銀及びその化合物	—	40 $\text{ng}/\text{m}^3$	—	1000 $\text{ng}/\text{m}^3$
ニッケル化合物	—	25 $\text{ng}/\text{m}^3$	40 $\text{ng}/\text{m}^3$	25 $\text{ng}/\text{m}^3$
ヒ素及びその化合物	—	6 $\text{ng}/\text{m}^3$	2 $\text{ng}/\text{m}^3$	6.6 $\text{ng}/\text{m}^3$
ベリリウム及びその化合物	—	—	4 $\text{ng}/\text{m}^3$	—
マンガン及びその化合物	—	140 $\text{ng}/\text{m}^3$	—	0.15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
六価クロム化合物	—	—	0.8 $\text{ng}/\text{m}^3$	0.25 $\text{ng}/\text{m}^3$

※1 人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準  
(環境基本法第16条第1項)

※2 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値  
(中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第7・8・9・10・11・12次答申)」)

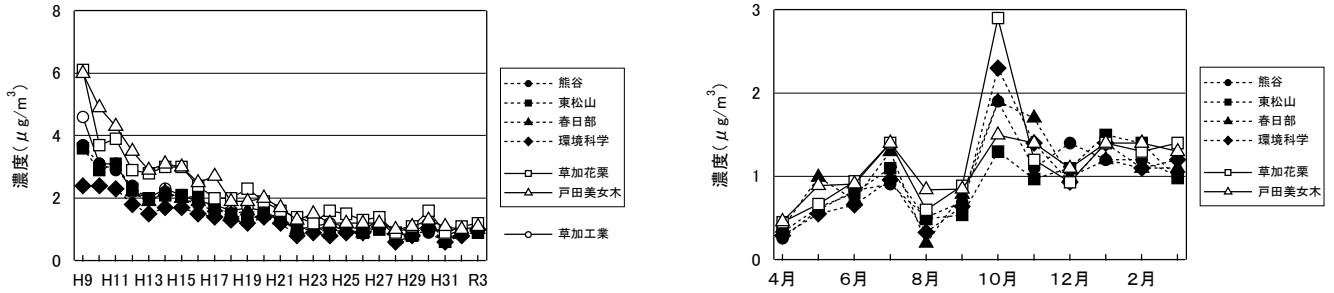
※3 EPA (米国環境保護庁) が設定したユニットリスクに基づく  $10^{-5}$  リスクレベル換算値  
(EPA ホームページ Integrated Risk Information System (IRIS))

※4 WHO (世界保健機関) 欧州地域事務局のガイドライン値あるいは  $10^{-5}$  リスクレベル換算値  
(Air Quality Guidelines for Europe Second Edition(2000))  
ジクロロメタン及び1,2-ジクロロエタンは一日平均値で評価  
ホルムアルデヒドは30分平均値で評価

(参考：県実施調査の詳細)

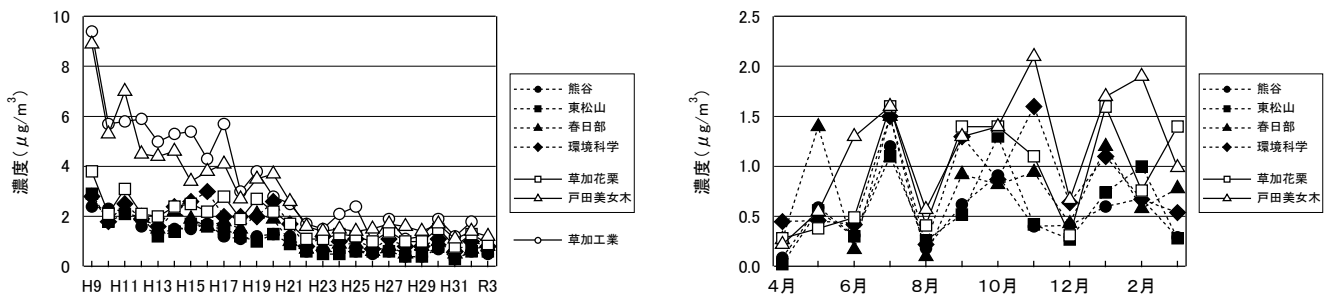
以下、県が測定を行っている物質ごとの経年変化及び経月変化をグラフで示し、調査結果を概説する。令和3年度から秩父と草加工業での測定は廃止されたが、参考値として経年変化のグラフに掲載する。

(1) ベンゼン



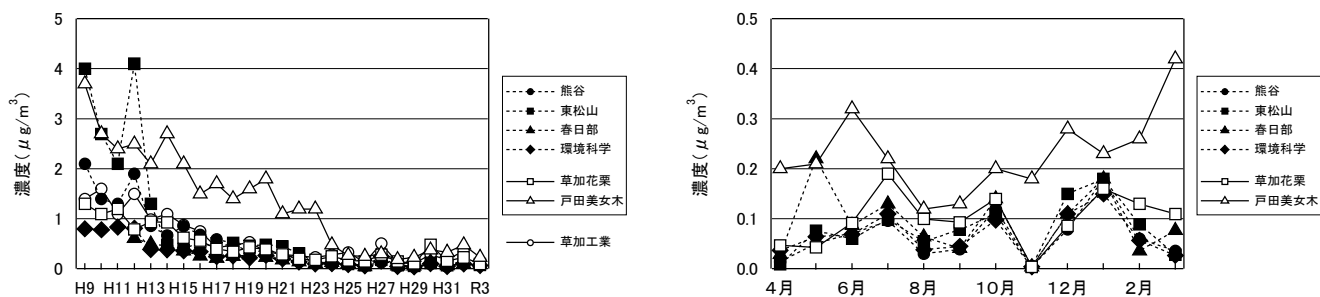
全地点で環境基準(3  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )を下回る濃度であった。長期的に続いていた濃度の低下傾向が、近年は鈍化し、ほぼ横ばいで推移している。平成15年度までは環境基準値付近で変動していた沿道2地点においても、現在は一般環境に近い濃度となっている。ベンゼンは自動車排出ガスが主な発生源と考えられ、長期的な低下傾向は燃料対策等の効果が表れた結果と考えられる。令和3年度は令和2年度と比べると、春日部は横ばい、それ以外の地点で濃度がやや上昇した。月変化では、全地点で4月または8月に最小値、10月に最大値が見られるなど、年間を通じて類似した濃度変動が見られた。

(2) トリクロロエチレン



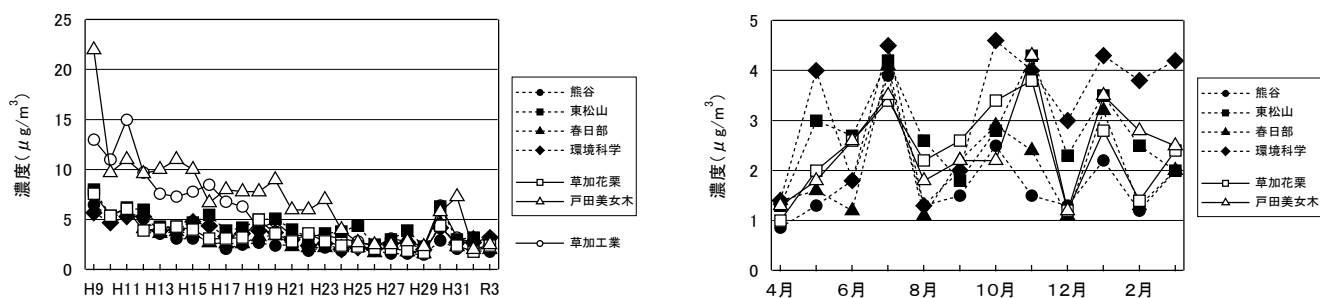
全地点で環境基準(130  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )の1/110~1/250程度の濃度であった。長期的な濃度の低下傾向は、平成21年度から鈍化し、近年はほぼ横ばいで推移している。令和3年度は令和2年度と比べると、全地点で濃度がやや低下した。月変化では、ばらつきがやや大きいが、年間を通じて低い濃度での変動が見られた。また、全ての地点で8月に低濃度、7月に高濃度が見られるなど、共通した濃度変動も見られた。

### (3) テトラクロロエチレン



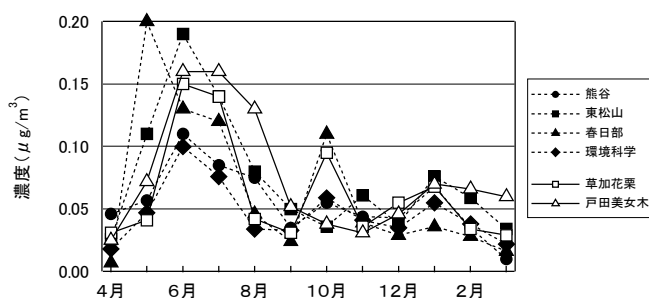
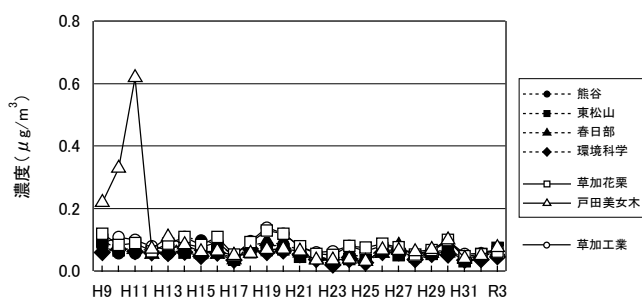
全地点で環境基準(200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )の1/850を下回る濃度であった。かつて高濃度であった東松山で平成14年度に、同様に高濃度であった戸田美女木で平成24年度に他地点と同程度まで低下して以降、濃度は横ばいないしは微増傾向で推移している。令和3年度は令和2年度と比べ、全ての地点で濃度が低下した。月変化を見ると、戸田美女木において3月に高濃度となったが、一般環境では5月の春日部を除けば年間を通じて大きな濃度変動は見られなかった。

### (4) ジクロロメタン



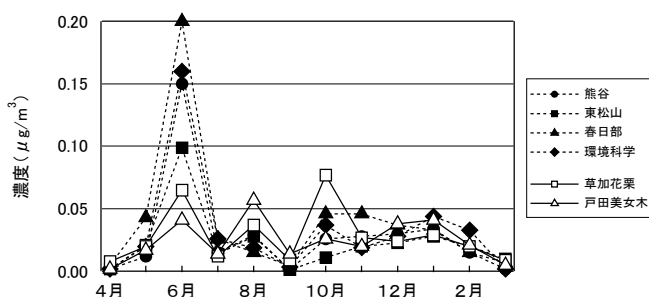
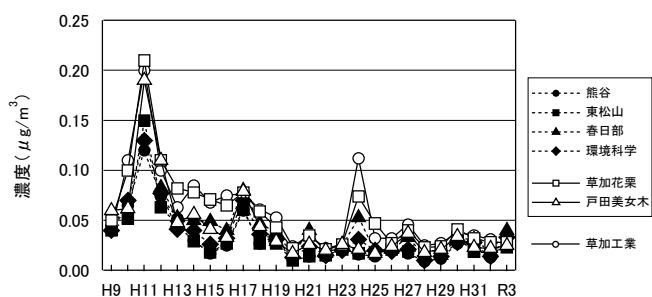
全地点で環境基準(150  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )の1/50前後か、それを下回る濃度であった。平成30年度、令和元年度と、一時的な濃度の上昇により、長期的に続いていた濃度の低下傾向が途絶えた地点も見られたが、令和2年度以降はそれ以前の状況まで戻っている。月変化では、ばらつきがやや大きく、4月、6月、7月、8月、9月を除いては地点間の濃度差が見られた。

### (5) アクリロニトリル



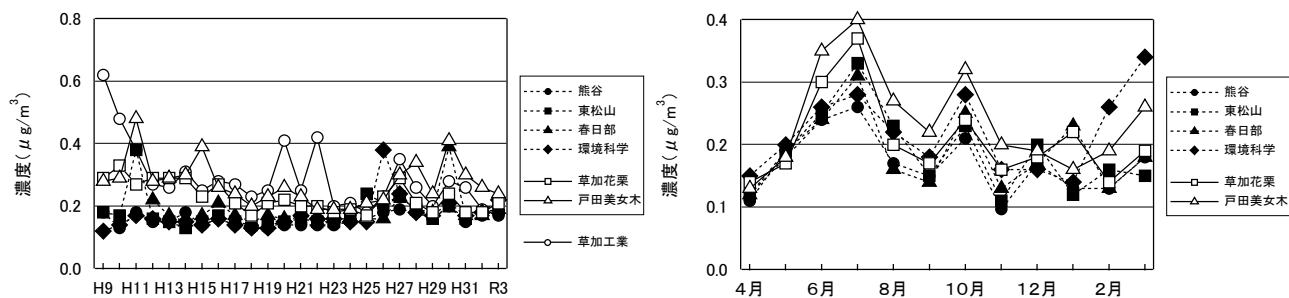
全地点で指針値 ( $2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の 1/10 前後か、それを下回る濃度であった。平成 12 年度から濃度は全地点でほぼ横ばい傾向が続いているが、令和 3 年度はすべての地点で令和 2 年度よりも濃度がやや上昇した。月変化では、5 月の春日部、6 月の東松山、環境科学、6 月、7 月の戸田美女木、7 月の草加花栗で高濃度が見られた。すべての地点で 5～8 月に高濃度が見られ、また多くの地点でそれ以外の月は比較的低濃度で推移するなど、類似した濃度変動が見られた。

### (6) 塩化ビニルモノマー



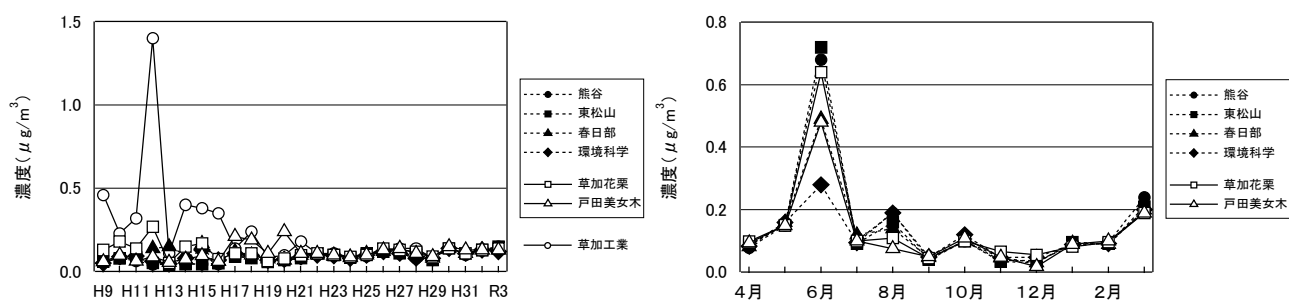
全地点で指針値 ( $10 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の 1/250 前後か、それを下回る濃度であった。濃度は平成 11 年度まで上昇し、それ以降は長期的に低下傾向が続いていたが、近年は若干の増減を繰り返しながら横ばいが続いている。令和 3 年度は、草加花栗で令和 2 年度と同程度、それ以外の地点では令和 2 年度より濃度が上昇した。月変化では、戸田美女木では 8 月、草加花栗では 10 月、それ以外の地点では 6 月に最大値が見られた。また、すべての地点で 4 月、9 月、3 月に最小値が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

## (7) クロロホルム



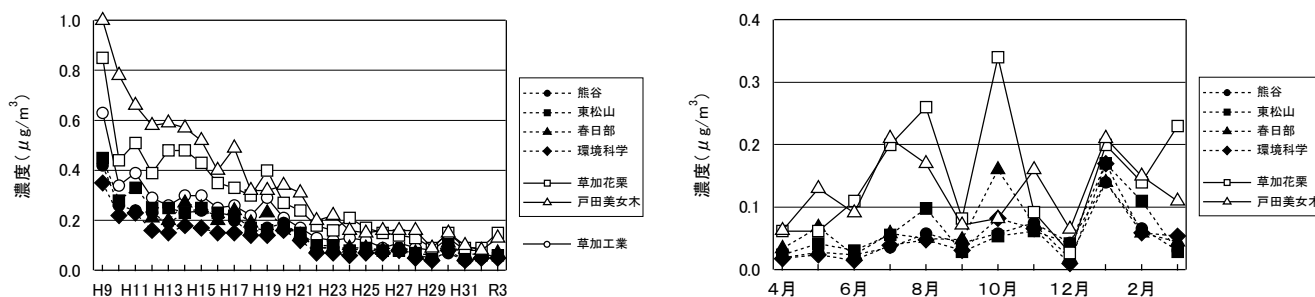
全地点で指針値 ( $18 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の  $1/75$  を下回る濃度であった。年度によって、地点間のばらつきが大きく、濃度は平成21年度頃から増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移している。令和3年度は、戸田美女木で令和2年度より濃度がやや低下、熊谷で横ばい、その他の地点では濃度がわずかに上昇した。月変化では、戸田美女木でやや高めの濃度推移が見られたが、全地点で6月、7月、10月に高濃度が見られるなど、おおむね全地点でほぼ同様の濃度変動を示した。2月、3月に環境科学と戸田美女木で濃度の上昇が見られた。

## (8) 1,2-ジクロロエタン



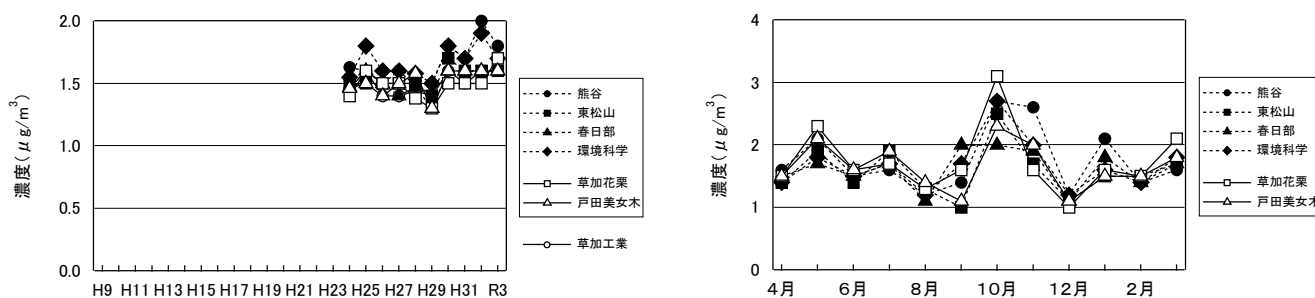
全地点で指針値 ( $1.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の  $1/10$  を下回る濃度であった。しばしば他の地点と比べて高濃度であった草加工業で平成17年度に濃度が低下して以降、ほぼ横ばいで推移しており、地点間の濃度差もほとんど見られない。令和3年度については、春日部と戸田美女木で令和2年度と同程度、熊谷、東松山、草加花栗では令和2年度よりもわずかに濃度が上昇、環境科学では令和2年度よりわずかに濃度が低下した。月変化では、地点間の濃度差はほとんど見られず、6月に最大値が見られるなど、全地点で同様の濃度変動が見られた。

(9) 1,3-ブタジエン



全地点で指針値 ( $2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の  $1/15$  前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、濃度が低下する傾向が続いてきたが、近年はほぼ横ばいで推移している。令和3年度は一般環境で令和2年度と同程度、沿道2地点ではわずかに濃度が上昇した。この物質もベンゼン同様、自動車排出ガスが主な発生源とされ、沿道ではやや高濃度傾向が見られる。月変化では、ばらつきが大きい、沿道2地点では7月、8月または10月に高濃度が見られ、全地点では12月に低下、1月に上昇が見られた。

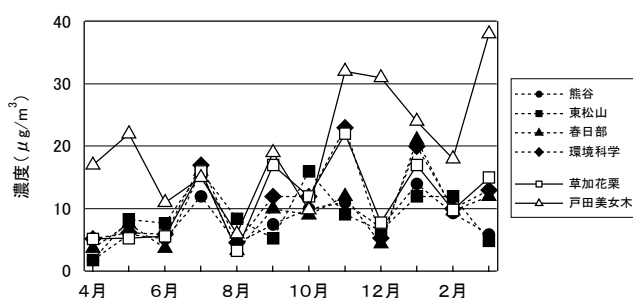
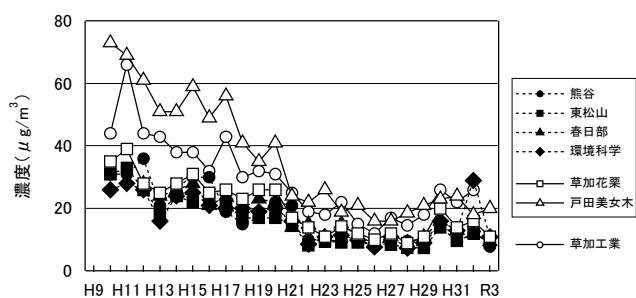
(10) 塩化メチル



全地点で指針値 ( $94 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) の  $1/50$  を下回る濃度であった。調査開始以来、全地点において、年平均で  $1.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$  前後で推移しており、地点間の濃度差はそれほど大きくない。令和3年度は令和2年度と比べると、草加花栗で濃度がやや上昇、熊谷でやや低下、それ以外の地点では横ばいであった。月変化では、10月に高濃度が見られ、基本的な濃度変動の推移はほぼ同様であった。

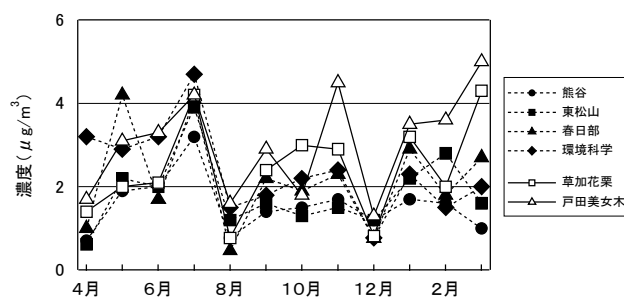
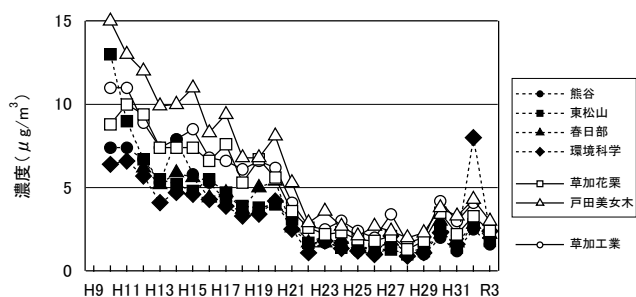


(11) トルエン



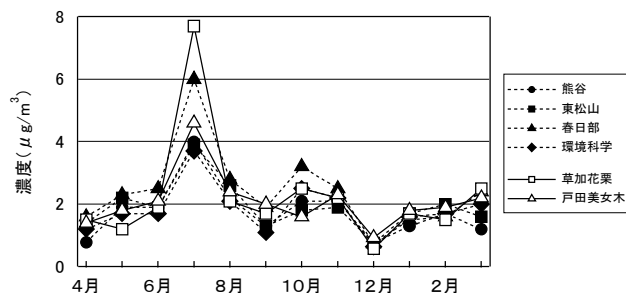
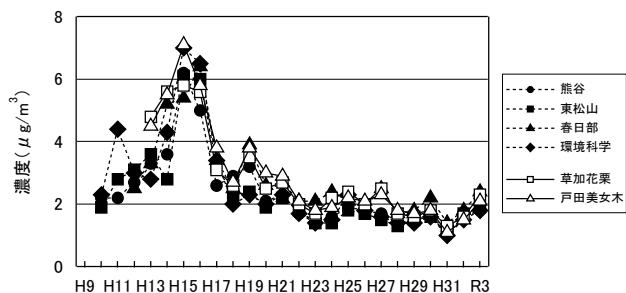
平成26年度を境に、長期的な濃度の低下傾向が微増傾向に転じている。調査開始以来、戸田美女木と草加工業が他の地点と比べて高濃度で推移しているが、令和2年度は環境科学で庁舎修繕による溶剤使用の影響と考えられる高濃度が見られ、これら2地点を上回っていた。令和3年度は、戸田美女木を除いたすべての地点で濃度がやや低下した。月変化を見ると、戸田美女木が比較的高い濃度で推移し、夏のみ低下する傾向であった。その他の地点には明確な季節変動は見られなかった。

(12) キシレン類



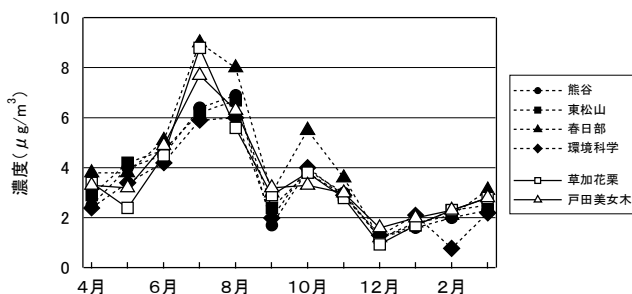
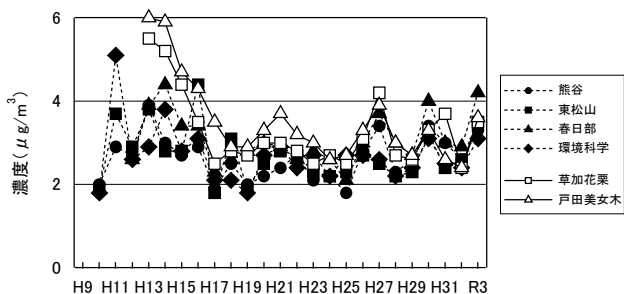
調査開始以来続いてきた長期的な濃度の低下傾向は、平成28年度を境に、上昇に転じている。近年は、沿道2地点が一般環境よりもやや高めに推移している。令和2年度にはトルエンと同様、庁舎修繕の影響があったと考えられる環境科学が最も高濃度となっており、他の地点でも濃度がやや上昇したものの、令和3年度は全地点で令和元年度と同じ程度に低下した。月変化を見ると、春から夏にかけて高濃度、秋から冬にかけて濃度が低下する傾向が見られ、ばらつきはあるが全地点類似した変動で推移していた。一方、沿道については秋以降も比較的高濃度が持続していた。

### (13) アセトアルデヒド



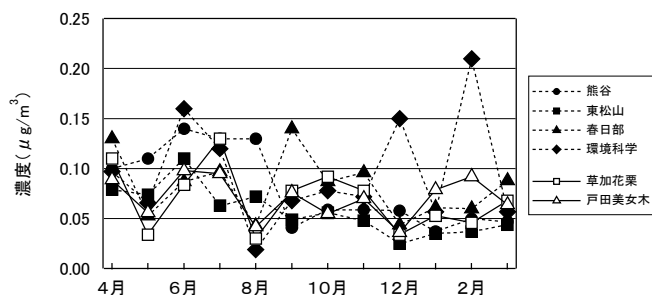
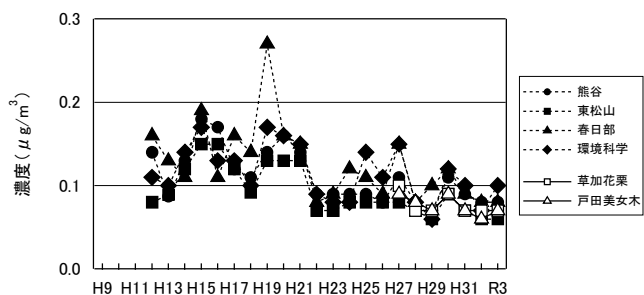
全地点で指針値 ( $120 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ) 及びEPAリスク換算値( $5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ )を下回っていた。平成15年度以降、濃度は低下傾向を示していたが、令和3年度は令和2年度と比べると、全地点で濃度は微増を示し、過去3年間上昇傾向となった。月変化では、全地点で7月に濃度の最大値がみられ、類似した変動であった。

### (14) ホルムアルデヒド



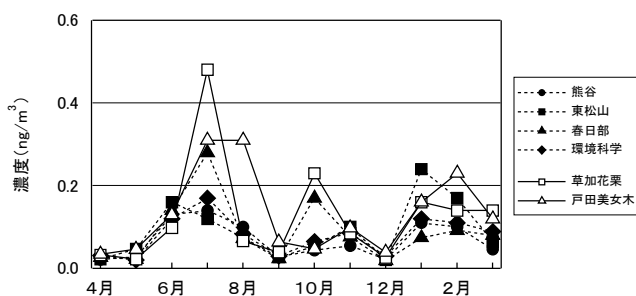
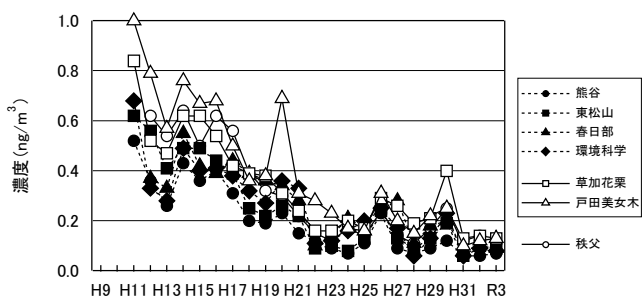
全地点でEPAリスク換算値( $0.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$ )を超え、その3.9~5.2倍の範囲にある。平成17年度頃までは濃度は低下傾向で推移し、特に沿道の草加花栗と戸田美女木ではそれが顕著であった。その後、横ばいまたは微増傾向を示している。令和3年度は令和2年度と比べると、全ての地点で上昇した。月変化では、7月、8月に全地点で高濃度となり、冬にかけて低下する類似した傾向が見られた。

### (15) 酸化エチレン



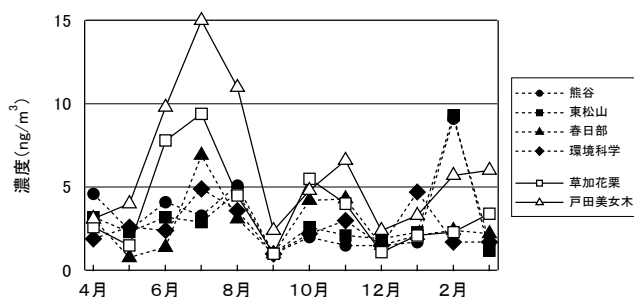
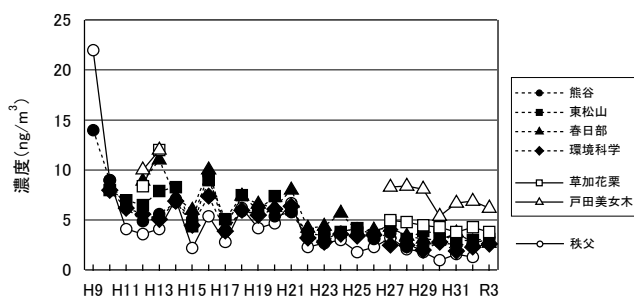
平成22年度以降、全体的に低濃度で推移しており、平成27年度から調査地点に加わった沿道の2地点でも同様の傾向が見られた。令和3年度は令和2年度と比べて、環境科学と戸田美女木で上昇、それ以外は横ばいであった。月変化では、6月、12月、2月に環境科学、9月に春日部で高濃度が見られた。

### (16) ベンゾ[a]ピレン



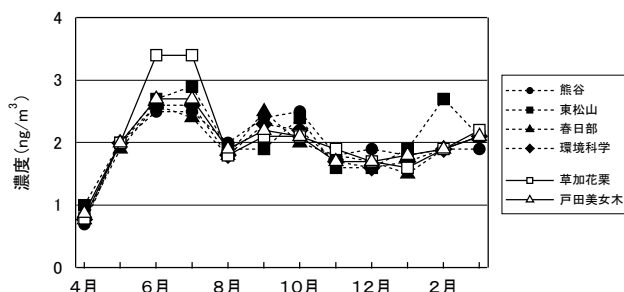
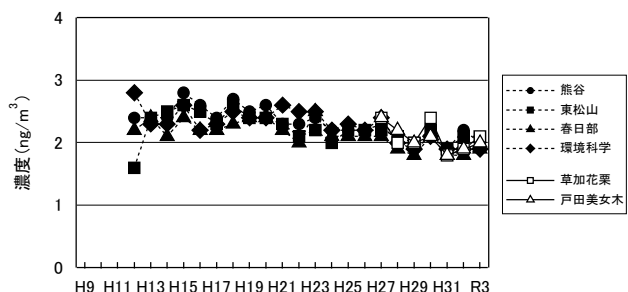
各地点の年平均値をWHOガイドライン値 (0.12 ng/m<sup>3</sup>) と比べると、草加花栗と戸田美女木においてガイドライン値をわずかに超えた。令和3年度は令和2年度と比べると、全地点でほぼ同程度の濃度であり、経年変化全体で見れば低い濃度レベルである。月変化を見ると、7月が全体的に高い傾向だったが、8月、10月、1月、2月なども濃度が高い地点がみられた。

(17) クロム及びその化合物



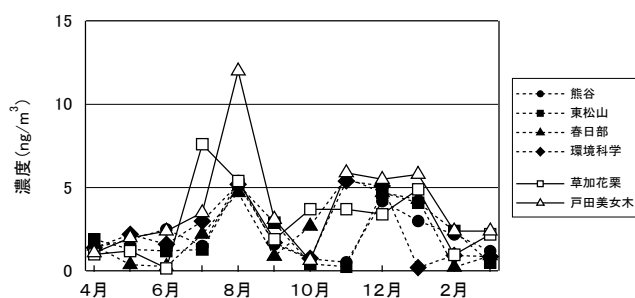
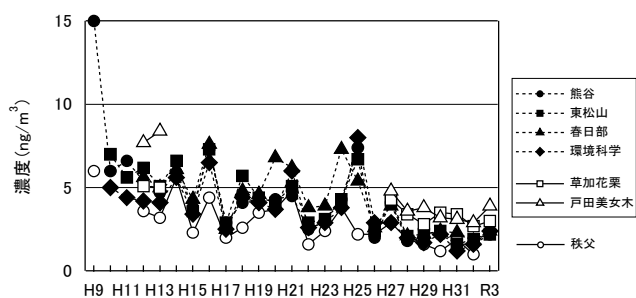
令和2年度と比較すると、熊谷、東松山、環境科学で上昇し、他地点は低下した。沿道の2地点は一般環境と比べて濃度レベルが高く、特に戸田美女木の濃度が高かった。6月から8月にかけて沿道での濃度が高く、最大値は7月の戸田美女木であった。一方、熊谷と東松山では2月に高い濃度が見られた。

(18) 水銀及びその化合物



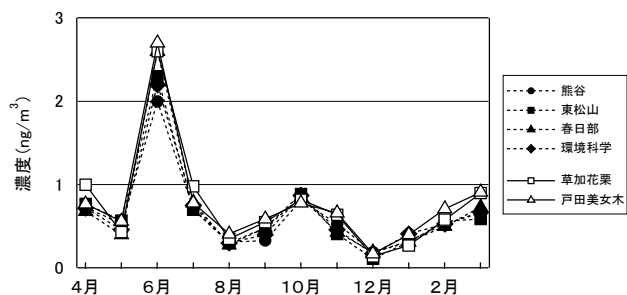
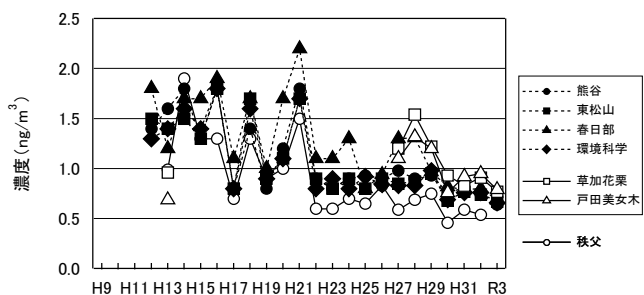
全地点で指針値 (40 ng/m<sup>3</sup>) の1/10を下回る濃度であった。令和2年度と比べると東松山と環境科学では横ばい、熊谷では低下であったが、その他の地点では上昇した。一般環境と沿道で差は見られず、東松山と草加花栗が最大、春日部と環境科学が最小であった。最大値は6月、7月の草加花栗であったが、東松山では2月に濃度上昇が見られた。全体的に濃度変動は類似しており、地点間の濃度差も小さかった。

### (19) ニッケル化合物



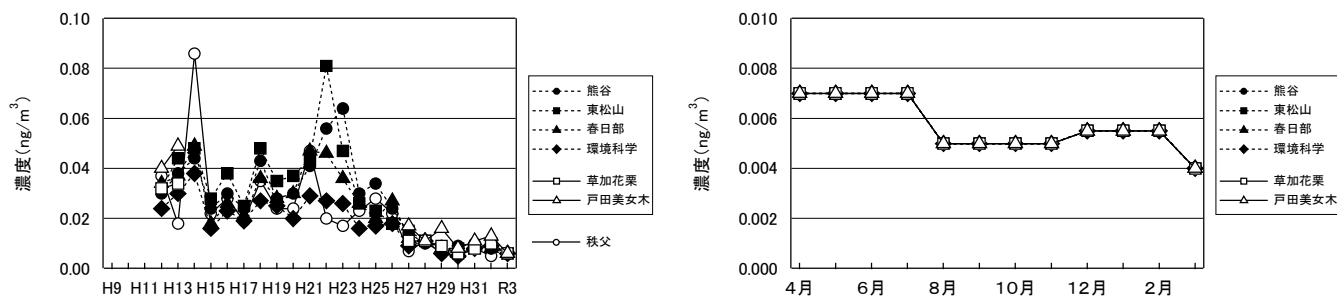
全地点で指針値 ( $25 \text{ ng/m}^3$ ) の  $1/6$  以下の濃度であった。令和2年度と比べて、全地点で濃度が上昇した。一般環境と比べて沿道が高い傾向が見られ、戸田美女木が最大であった。最大値は8月の戸田美女木であったが、7月の草加花栗でも高い濃度が見られた。一般環境の濃度変動は類似しており、11月、12月、1月には濃度が上昇する地点が多かった。

### (20) ヒ素及びその化合物



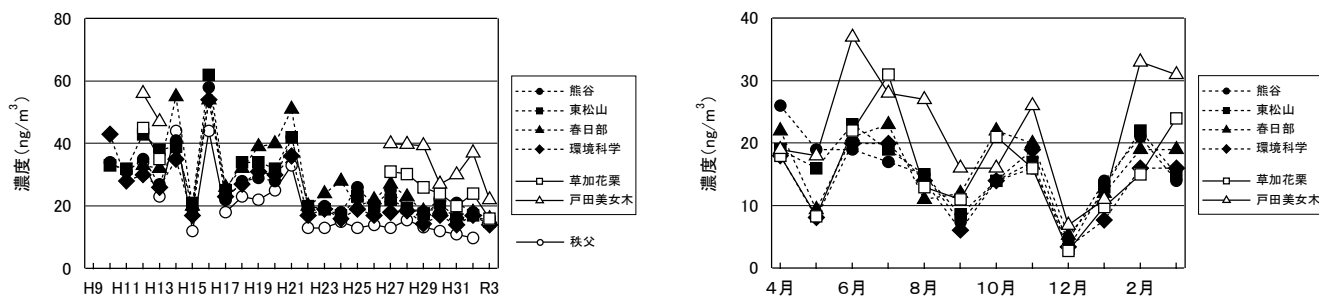
全地点で指針値 ( $6 \text{ ng/m}^3$ ) の  $1/7$  以下の濃度であった。令和2年度と比較すると、全地点で濃度が低下した。一般環境と比べて沿道が高い傾向が見られ、戸田美女木が最も高かった。月変化では、全体的に濃度変動は類似しており、全地点で6月に濃度が上昇した。年間の最大値は6月の戸田美女木であったが、春日部と草加花栗も同程度であった。

## (21) ベリリウム及びその化合物



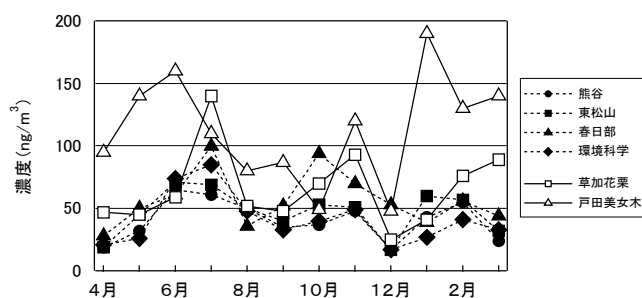
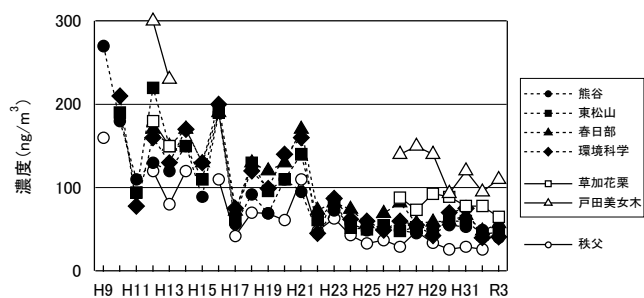
全地点でEPAリスク換算値(4 ng/m<sup>3</sup>)の1/600以下の濃度であった。令和3年度は、全地点の月別濃度が検出下限値未満であったため、濃度の増減については評価できない。同じ理由により、地点間の濃度差が見られなかった。

## (22) マンガン及びその化合物



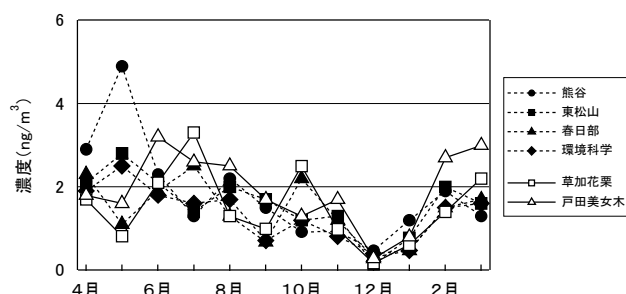
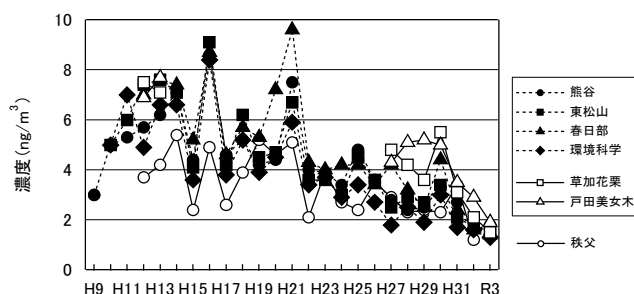
全地点で指針値(140 ng/m<sup>3</sup>)の1/6以下の濃度であった。令和2年度と比べると、全地点で低下した。沿道の2地点は高い傾向が見られ、戸田美女木が最大、環境科学が最小となった。最大値は、6月の戸田美女木であったが、2月、3月も上昇が見られた。

### (23) 亜鉛及びその化合物



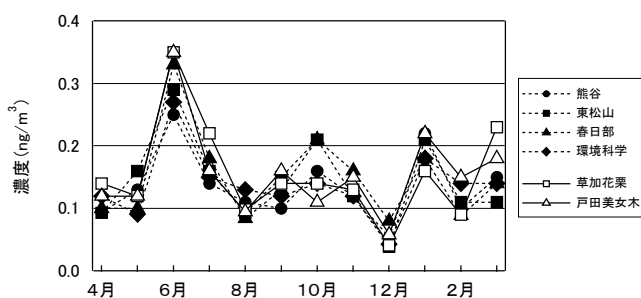
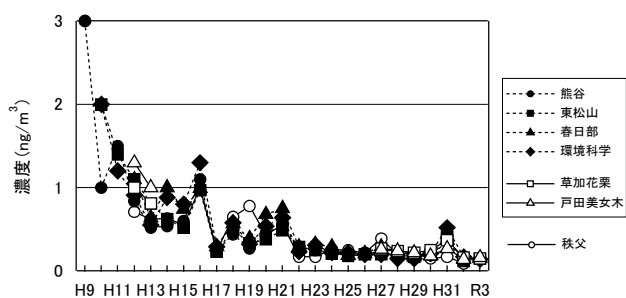
令和2年度と比べると、熊谷と草加花栗で低下したが、その他の地点では上昇した。一般環境と比べて沿道の2地点は高い傾向が見られ、戸田美女木が高く、熊谷が最小となった。最大値は1月の戸田美女木であったが、5月、6月、2月、3月も高い濃度となった。7月は草加花栗で濃度が上昇した。

### (24) バナジウム及びその化合物



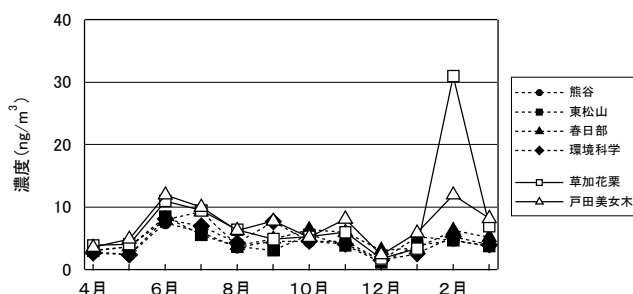
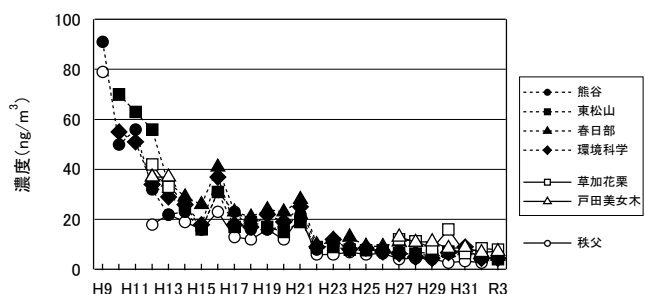
令和2年度と比べると、熊谷を除いた全ての地点で濃度が低下した。戸田美女木が最大、環境科学が最小であった。濃度変動は全体的に類似しているが、5月に熊谷のみに上昇が見られて最大値であった。1 2月に全地点で濃度が低下していた。

(25) カドミウム及びその化合物



令和2年度と比べると、熊谷、東松山、戸田美女木で増加、環境科学、草加花栗で低下、春日部で横ばいであった。戸田美女木が最大となったが、他地点もほぼ同程度であった。全体的に濃度変動は類似しており、最大値は6月で、最小値は12月に見られた。

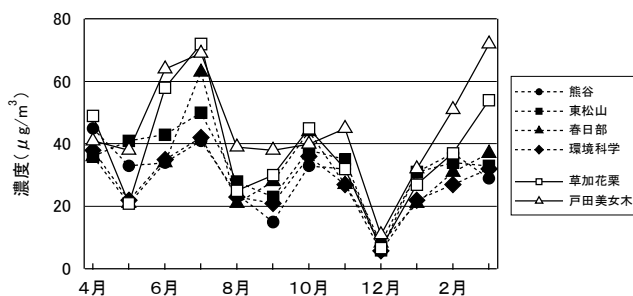
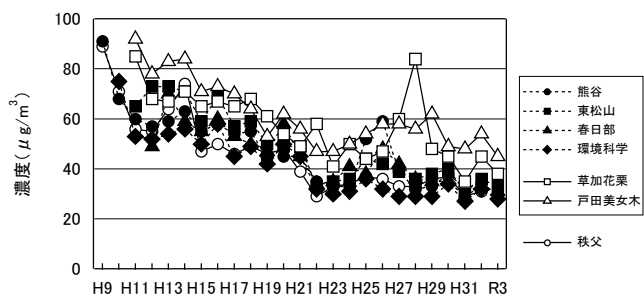
(26) 鉛及びその化合物



令和2年度と比べると、熊谷、東松山、草加花栗で濃度が低下し、それら以外は上昇していた。また、全体としては低い濃度レベルで推移している。一般環境と比べると沿道の2地点で高い傾向が見られ、草加花栗が最大となったが、これは2月に見られた濃度上昇が影響している。月変化では、全体的に濃度変動は類似していた。



(27) 浮遊粉じん



調査開始以来の低下傾向から、平成23年度以降はわずかに上昇傾向を示していたが、平成27年度から平成28年度は再び低下傾向を示す地点が多くなった。その後は小さな上昇と低下を繰り返しながら、全般的には横ばい傾向となっている。令和3年度は令和2年度に比べて若干低下した。月変化では、各地点の濃度変動は概ね類似しているが、沿道である戸田美女木及び草加花栗が相対的に高い傾向を示した。

表 I - 10 有害大気汚染物質の調査結果 (県調査地点)

(1) ベンゼン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.26	0.33	0.38	0.29	0.45	0.46
5月	0.60	0.63	0.99	0.55	0.67	0.89
6月	0.83	0.80	0.72	0.66	0.94	0.91
7月	0.91	1.1	1.3	0.96	1.4	1.4
8月	0.51	0.49	0.20	0.33	0.60	0.84
9月	0.69	0.54	0.79	0.64	0.89	0.85
10月	1.9	1.3	1.9	2.3	2.9	1.5
11月	1.1	0.97	1.7	1.4	1.2	1.4
12月	1.4	1.1	0.99	0.93	0.93	1.1
1月	1.2	1.5	1.2	1.4	1.4	1.4
2月	1.2	1.4	1.1	1.1	1.3	1.4
3月	1.0	0.98	1.1	1.2	1.4	1.3
最大値	1.9	1.5	1.9	2.3	2.9	1.5
最小値	0.26	0.33	0.20	0.29	0.45	0.46
平均値	0.97	0.93	1.0	0.98	1.2	1.1

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(2) トリクロロエチレン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.089	0.025	0.27	0.45	0.28	0.22
5月	0.59	0.56	1.4	0.46	0.38	0.55
6月	0.31	0.30	0.17	0.42	0.49	1.3
7月	1.2	1.1	1.5	1.5	1.6	1.6
8月	0.18	0.26	0.10	0.22	0.41	0.57
9月	0.62	0.52	0.92	1.3	1.4	1.3
10月	0.91	1.3	0.82	0.87	1.4	1.4
11月	0.40	0.42	0.94	1.6	1.1	2.1
12月	0.41	0.27	0.43	0.64	0.31	0.67
1月	0.60	0.74	1.2	1.1	1.6	1.7
2月	0.68	1.0	0.58	0.67	0.76	1.9
3月	0.29	0.28	0.78	0.54	1.4	0.99
最大値	1.2	1.3	1.5	1.6	1.6	2.1
最小値	0.089	0.025	0.10	0.22	0.28	0.22
平均値	0.52	0.56	0.76	0.81	0.93	1.2

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(3) テトラクロロエチレン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.014*	0.009*	0.029	0.037	0.047	0.20
5月	0.051	0.076*	0.22	0.064	0.043	0.21
6月	0.070	0.060	0.087	0.069	0.092	0.32
7月	0.096	0.099	0.13	0.11	0.19	0.22
8月	0.030	0.055	0.064	0.038	0.10	0.12
9月	0.039	0.078	0.041	0.045	0.093	0.13
10月	0.12	0.11	0.14	0.098	0.14	0.20
11月	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.18
12月	0.079	0.15	0.11	0.11	0.086	0.28
1月	0.18	0.18	0.18	0.15	0.16	0.23
2月	0.060	0.089	0.036*	0.057	0.13	0.26
3月	0.036	0.028*	0.077	0.027*	0.11	0.42
最大値	0.18	0.18	0.22	0.15	0.19	0.42
最小値	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	0.12
平均値	0.065	0.078	0.093	0.067	0.10	0.23

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (4) ジクロロメタン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.86	1.3	1.4	1.4	1.0	1.3
5月	1.3	3.0	1.6	4.0	2.0	1.8
6月	1.8	2.7	1.2	1.8	2.6	2.6
7月	3.9	4.2	4.1	4.5	3.4	3.5
8月	1.3	2.6	1.1	1.3	2.2	1.8
9月	1.5	1.8	2.2	2.0	2.6	2.2
10月	2.5	2.8	2.9	4.6	3.4	2.2
11月	1.5	4.3	2.4	4.0	3.8	4.3
12月	1.3	2.3	1.1	3.0	1.2	1.2
1月	2.2	3.5	3.2	4.3	2.8	3.5
2月	1.2	2.5	1.3	3.8	1.4	2.8
3月	2.0	2.0	2.0	4.2	2.4	2.5
最大値	3.9	4.3	4.1	4.6	3.8	4.3
最小値	0.86	1.3	1.1	1.3	1.0	1.2
平均値	1.8	2.8	2.0	3.2	2.4	2.5

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (5) アクリロニトリル

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.046	0.026	0.007 *	0.018	0.031	0.025
5月	0.057	0.11	0.20	0.047	0.041	0.072
6月	0.11	0.19	0.13	0.10	0.15	0.16
7月	0.085	0.14	0.12	0.076	0.14	0.16
8月	0.075	0.080	0.046	0.034	0.042	0.13
9月	0.035	0.050	0.024	0.033	0.031	0.052
10月	0.055	0.036	0.11	0.059	0.095	0.038
11月	0.044	0.061	0.039	0.041	0.036	0.031
12月	0.043	0.038	0.029	0.035	0.055	0.046
1月	0.068	0.076	0.036	0.055	0.068	0.070
2月	0.035	0.059	0.028	0.038	0.034	0.066
3月	0.010 *	0.034	0.016	0.022	0.029	0.06
最大値	0.11	0.19	0.20	0.10	0.15	0.16
最小値	0.010 *	0.026	0.007 *	0.018	0.029	0.025
平均値	0.055	0.075	0.065	0.046	0.063	0.076

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (6) 塩化ビニルモノマー

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.0020 ND	0.0020 ND	0.0050 *	0.0020 ND	0.008 *	0.0020 ND
5月	0.012 *	0.021	0.043	0.020	0.020	0.017
6月	0.15	0.099	0.20	0.16	0.065	0.041
7月	0.015	0.014	0.026	0.026	0.012	0.014
8月	0.029	0.028	0.015	0.019	0.037	0.057
9月	0.0013 ND	0.0013 ND	0.0044 *	0.0035 *	0.0092	0.014
10月	0.026	0.011 *	0.046	0.037	0.077	0.026
11月	0.028	0.020	0.046	0.019	0.027	0.020
12月	0.030	0.023	0.037	0.028	0.024	0.038
1月	0.034	0.028	0.033	0.044	0.029	0.041
2月	0.015 *	0.020 *	0.015 *	0.033	0.020 *	0.021 *
3月	0.0020 ND	0.010 *	0.0070 *	0.0020 ND	0.0090 *	0.0050 *
最大値	0.15	0.099	0.20	0.16	0.077	0.057
最小値	<0.0026	<0.0026	0.0044 *	0.0035 *	0.008 *	<0.0040
平均値	0.029	0.023	0.040	0.033	0.028	0.025

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (7) クロロホルム

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.11	0.12	0.12	0.15	0.14	0.13
5月	0.19	0.19	0.18	0.20	0.17	0.18
6月	0.24	0.25	0.24	0.26	0.30	0.35
7月	0.26	0.33	0.31	0.28	0.37	0.40
8月	0.17	0.23	0.16	0.22	0.20	0.27
9月	0.15	0.15	0.14	0.18	0.17	0.22
10月	0.21	0.23	0.25	0.28	0.24	0.32
11月	0.097	0.11	0.13	0.16	0.16	0.20
12月	0.17	0.20	0.17	0.16	0.18	0.19
1月	0.13	0.12	0.23	0.14	0.22	0.16
2月	0.13	0.16	0.13	0.26	0.14	0.19
3月	0.18	0.15	0.18	0.34	0.19	0.26
最大値	0.26	0.33	0.31	0.34	0.37	0.40
最小値	0.097	0.11	0.12	0.14	0.14	0.13
平均値	0.17	0.19	0.19	0.22	0.21	0.24

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (8) 1,2-ジクロロエタン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.078	0.088	0.082	0.084	0.099	0.094
5月	0.15	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15
6月	0.68	0.72	0.49	0.28	0.64	0.48
7月	0.10	0.092	0.12	0.095	0.10	0.10
8月	0.19	0.16	0.14	0.19	0.11	0.076
9月	0.042	0.040	0.047	0.049	0.045	0.050
10月	0.10	0.10	0.10	0.12	0.10	0.11
11月	0.038	0.034	0.046	0.047	0.066	0.048
12月	0.038	0.031	0.031	0.048	0.056	0.018
1月	0.082	0.096	0.093	0.089	0.082	0.090
2月	0.096	0.091	0.090	0.092	0.096	0.10
3月	0.24	0.21	0.20	0.20	0.19	0.19
最大値	0.68	0.72	0.49	0.28	0.64	0.48
最小値	0.038	0.031	0.031	0.047	0.045	0.018
平均値	0.15	0.15	0.13	0.12	0.14	0.13

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (9) 1,3-ブタジエン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.019	0.024	0.034	0.018	0.062	0.063
5月	0.028	0.042	0.068	0.024	0.062	0.13
6月	0.024	0.031	0.024	0.015	0.11	0.091
7月	0.036	0.056	0.058	0.039	0.20	0.21
8月	0.058	0.098	0.050	0.048	0.26	0.17
9月	0.043	0.029	0.048	0.031	0.082	0.072
10月	0.058	0.054	0.16	0.082	0.34	0.082
11月	0.075	0.062	0.073	0.066	0.092	0.16
12月	0.043	0.042	0.019	0.010	0.027	0.065
1月	0.14	0.17	0.14	0.17	0.20	0.21
2月	0.066	0.11	0.059	0.059	0.14	0.15
3月	0.031	0.029	0.045	0.054	0.23	0.11
最大値	0.14	0.17	0.16	0.17	0.34	0.21
最小値	0.019	0.024	0.019	0.010	0.027	0.063
平均値	0.052	0.062	0.065	0.051	0.15	0.13

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (10) 塩化メチル

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.6	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5
5月	2.1	1.9	1.7	1.8	2.3	2.1
6月	1.5	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6
7月	1.6	1.9	1.7	1.7	1.7	1.9
8月	1.2	1.3	1.1	1.2	1.3	1.4
9月	1.4	1.0	2.0	1.7	1.6	1.1
10月	2.7	2.5	2.0	2.7	3.1	2.3
11月	2.6	1.7	1.9	2.0	1.6	2.0
12月	1.2	1.1	1.1	1.2	1.0	1.1
1月	2.1	1.5	1.8	1.6	1.6	1.5
2月	1.4	1.5	1.4	1.4	1.5	1.5
3月	1.6	1.7	1.7	1.8	2.1	1.8
最大値	2.7	2.5	2.0	2.7	3.1	2.3
最小値	1.2	1.0	1.1	1.2	1.0	1.1
平均値	1.8	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (11) トルエン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.8	1.8	3.7	5.2	5.2	17
5月	5.9	8.3	7.6	6.2	5.3	22
6月	5.2	7.7	3.7	5.9	5.6	11
7月	12	16	16	17	16	15
8月	4.5	8.4	3.3	4.6	3.3	6.0
9月	7.5	5.3	10	12	17	19
10月	10	16	9.0	12	12	9.8
11月	11	9.1	12	23	22	32
12月	7.0	6.5	4.4	5.3	7.8	31
1月	14	12	21	20	17	24
2月	9.3	12	9.7	10	9.8	18
3月	5.9	4.9	12	13	15	38
最大値	14	16	21	23	22	38
最小値	1.8	1.8	3.3	4.6	3.3	6.0
平均値	7.8	9.0	9.4	11	11	20

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (12) キシレン類

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.71	0.62	1.0	3.2	1.4	1.7
5月	1.9	2.2	4.2	2.9	2.0	3.1
6月	2.0	2.0	1.7	3.2	2.1	3.3
7月	3.2	3.9	4.1	4.7	4.2	4.2
8月	0.77	1.2	0.47	1.5	0.77	1.6
9月	1.4	1.6	2.2	1.8	2.4	2.9
10月	1.5	1.3	1.9	2.2	3.0	1.8
11月	1.7	1.5	2.3	2.4	2.9	4.5
12月	1.2	1.2	0.76	0.77	0.82	1.3
1月	1.7	2.2	2.9	2.3	3.2	3.5
2月	1.6	2.8	1.8	1.5	2.0	3.6
3月	1.0	1.6	2.7	2.0	4.3	5.0
最大値	3.2	3.9	4.2	4.7	4.3	5.0
最小値	0.71	0.62	0.47	0.77	0.77	1.3
平均値	1.6	1.8	2.2	2.4	2.4	3.0

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (13) アセトアルデヒド

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.78	1.4	1.6	1.2	1.5	1.4
5月	1.9	2.2	2.3	1.7	1.2	1.8
6月	1.9	1.9	2.5	1.7	1.9	2.1
7月	4.0	3.9	6.0	3.7	7.7	4.6
8月	2.2	2.6	2.8	2.1	2.1	2.4
9月	1.3	1.3	1.9	1.1	1.7	2.0
10月	2.1	1.8	3.2	2.5	2.5	1.6
11月	2.1	1.9	2.5	2.2	2.2	2.3
12月	0.76	0.76	0.74	0.64	0.57	0.93
1月	1.3	1.7	1.5	1.6	1.7	1.8
2月	1.7	2.0	1.6	1.7	1.5	1.9
3月	1.2	1.6	2.4	2.0	2.5	2.2
最大値	4.0	3.9	6.0	3.7	7.7	4.6
最小値	0.76	0.76	0.74	0.64	0.57	0.93
平均値	1.8	1.9	2.4	1.8	2.3	2.1

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (14) ホルムアルデヒド

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.5	2.9	3.8	2.4	3.4	3.3
5月	4.0	4.2	3.8	3.4	2.4	3.2
6月	4.5	4.7	5.1	4.2	4.5	4.9
7月	6.4	6.2	9.0	5.9	8.8	7.7
8月	6.9	6.7	8.0	6.0	5.6	6.3
9月	1.7	2.4	3.0	2.0	2.9	3.2
10月	3.9	3.8	5.5	4.0	3.8	3.3
11月	3.0	2.9	3.6	2.9	2.8	3.0
12月	1.2	1.2	1.2	1.3	0.94	1.6
1月	1.6	1.7	1.8	2.1	1.7	2.0
2月	2.0	2.3	2.1	0.78	2.3	2.3
3月	2.3	2.5	3.1	2.2	2.8	2.8
最大値	6.9	6.7	9.0	6.0	8.8	7.7
最小値	1.2	1.2	1.2	0.78	0.94	1.6
平均値	3.3	3.5	4.2	3.1	3.5	3.6

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (15) 酸化エチレン

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.10	0.079	0.13	0.097	0.11	0.089
5月	0.11	0.074	0.053	0.066	0.034	0.056
6月	0.14	0.11	0.087	0.16	0.084	0.098
7月	0.13	0.063	0.097	0.12	0.13	0.095
8月	0.13	0.072	0.043	0.019	0.030	0.042
9月	0.041	0.049	0.14	0.068	0.078	0.076
10月	0.059	0.056	0.087	0.078	0.092	0.055
11月	0.059	0.048	0.096	0.072	0.078	0.070
12月	0.058	0.025	0.044	0.15	0.034	0.036
1月	0.037	0.035	0.061	0.057	0.053	0.079
2月	0.050	0.037	0.060	0.21	0.046	0.092
3月	0.047	0.044	0.088	0.057	0.068	0.064
最大値	0.14	0.11	0.14	0.21	0.13	0.098
最小値	0.037	0.025	0.043	0.019	0.030	0.036
平均値	0.080	0.058	0.082	0.096	0.070	0.071

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (16) ベンゾ[a]ピレン

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.021	0.022	0.027	0.031	0.032	0.034
5月	0.028	0.047	0.022	0.020	0.022	0.046
6月	0.13	0.16	0.14	0.12	0.098	0.13
7月	0.14	0.12	0.28	0.17	0.48	0.31
8月	0.10	0.074	0.072	0.083	0.066	0.31
9月	0.028	0.027	0.023	0.030	0.039	0.064
10月	0.044	0.053	0.17	0.065	0.23	0.047
11月	0.055	0.10	0.076	0.085	0.085	0.098
12月	0.021	0.020	0.019	0.030	0.026	0.039
1月	0.11	0.24	0.074	0.12	0.16	0.16
2月	0.10	0.17	0.092	0.11	0.14	0.23
3月	0.046	0.065	0.080	0.089	0.14	0.12
最大値	0.14	0.24	0.28	0.17	0.48	0.31
最小値	0.021	0.020	0.019	0.020	0.022	0.034
平均値	0.069	0.092	0.090	0.079	0.13	0.13

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (17) クロムおよびその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.6	3.2	3.1	1.9	2.6	3.1
5月	2.4	2.3	0.78	2.6	1.5	4.0
6月	4.1	3.2	1.4	2.4	7.8	9.8
7月	3.3	2.9	6.9	4.9	9.4	15
8月	5.1	4.7	3.1	3.6	4.5	11
9月	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.4
10月	2.0	2.6	4.2	2.2	5.5	4.8
11月	1.5	2.1	4.3	3.0	4.0	6.6
12月	1.5	1.9	1.5	1.5	1.1	2.4
1月	1.7	2.3	2.1	4.7	2.1	3.3
2月	9.1	9.3	2.4	1.7	2.3	5.7
3月	1.7	1.2	2.2	1.7	3.4	6.0
最大値	9.1	9.3	6.9	4.9	9.4	15
最小値	1.0	1.0	0.78	1.0	1.0	2.4
平均値	3.2	3.1	2.7	2.6	3.8	6.2

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (18) 水銀及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.70	1.0	0.77	0.77	0.79	0.87
5月	2.0	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0
6月	2.5	2.7	2.6	2.6	3.4	2.7
7月	2.5	2.9	2.4	2.6	3.4	2.7
8月	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.9
9月	2.4	1.9	2.5	2.3	2.1	2.2
10月	2.5	2.4	2.0	2.2	2.1	2.1
11月	1.8	1.6	1.8	1.7	1.9	1.7
12月	1.9	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7
1月	1.8	1.9	1.5	1.7	1.6	1.8
2月	1.9	2.7	1.9	1.9	1.9	1.9
3月	1.9	2.1	2.1	2.1	2.2	2.1
最大値	2.5	2.9	2.6	2.6	3.4	2.7
最小値	0.70	1.0	0.77	0.77	0.79	0.87
平均値	2.0	2.1	1.9	1.9	2.1	2.0

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (19) ニッケル化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.4	1.9	1.5	1.4	1.0	1.1
5月	1.9	1.3	0.39 *	2.2	1.2	2.0
6月	2.5	1.2	0.27 *	1.6	0.16 *	2.4
7月	1.5	1.3	2.2	3.0	7.6	3.5
8月	5.4	5.2	4.7	5.2	5.4	12
9月	1.6	2.9	0.89	1.7	1.9	3.1
10月	0.73	0.43	2.7	0.76	3.7	0.64
11月	0.53	0.25 *	5.6	5.4	3.7	5.9
12月	4.2	4.7	4.7	5.1	3.4	5.5
1月	3.0	4.1	4.3	0.21	4.9	5.8
2月	2.2	2.4	0.23	0.94	0.98	2.4
3月	1.2	0.49	0.92	0.85	2.2	2.4
最大値	5.4	5.2	5.6	5.4	7.6	12
最小値	0.53	0.25 *	0.23	0.21	0.16 *	0.64
平均値	2.2	2.2	2.4	2.4	3.0	3.9

\* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

## (20) ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.73	0.77	0.68	0.72	1.0	0.77
5月	0.53	0.57	0.40	0.46	0.43	0.56
6月	2.0	2.3	2.6	2.2	2.6	2.7
7月	0.71	0.70	0.79	0.75	0.98	0.78
8月	0.31	0.30	0.28	0.30	0.35	0.41
9月	0.33	0.48	0.48	0.40	0.55	0.59
10月	0.81	0.89	0.85	0.87	0.82	0.78
11月	0.53	0.41	0.43	0.46	0.64	0.66
12月	0.19	0.11	0.19	0.17	0.14	0.17
1月	0.32	0.31	0.31	0.41	0.27	0.40
2月	0.53	0.56	0.50	0.53	0.58	0.71
3月	0.66	0.59	0.73	0.67	0.90	0.91
最大値	2.0	2.3	2.6	2.2	2.6	2.7
最小値	0.19	0.11	0.19	0.17	0.14	0.17
平均値	0.64	0.67	0.69	0.66	0.77	0.79

\* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

## (21) ベリリウム及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND
5月	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND
6月	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND
7月	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND	0.007 ND
8月	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND
9月	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND
10月	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND
11月	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND	0.005 ND
12月	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND
1月	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND
2月	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND
3月	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND	0.004 ND
最大値	<0.014	<0.014	<0.014	<0.014	<0.014	<0.014
最小値	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
平均値	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006

\* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均



## (22) マンガン及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	26	19	22	18	18	19
5月	19	16	9.4	8.1	8.3	18
6月	19	23	21	20	22	37
7月	17	19	23	20	31	28
8月	15	15	11	14	13	27
9月	7.4	8.6	12	6.1	11	16
10月	14	14	22	14	21	16
11月	16	17	20	19	16	26
12月	4.5	3.1	5.3	3.4	2.8	6.9
1月	14	13	12	7.7	9.8	11
2月	21	22	19	16	15	33
3月	14	15	19	16	24	31
最大値	26	23	23	20	31	37
最小値	4.5	3.1	5.3	3.4	2.8	6.9
平均値	16	15	16	14	16	22

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (23) 亜鉛及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	19	19	28	21	47	95
5月	32	45	50	26	45	140
6月	65	71	61	74	59	160
7月	61	69	100	85	140	110
8月	50	50	36	48	52	80
9月	35	40	52	33	48	87
10月	37	53	94	40	70	49
11月	48	51	70	49	93	120
12月	17	17	53	17	25	48
1月	43	60	39	27	41	190
2月	55	57	56	41	76	130
3月	24	32	44	33	89	140
最大値	65	71	100	85	140	190
最小値	17	17	28	17	25	48
平均値	40	47	57	41	65	110

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (24) バナジウム及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.9	2.1	2.3	1.9	1.7	1.8
5月	4.9	2.8	1.1	2.5	0.82	1.6
6月	2.3	2.1	1.9	1.8	2.1	3.2
7月	1.3	1.4	2.5	1.6	3.3	2.6
8月	2.2	2.0	1.3	1.7	1.3	2.5
9月	1.5	1.7	0.68	0.71	0.99	1.7
10月	0.92	1.2	2.2	1.2	2.5	1.3
11月	0.93	1.3	1.2	0.81	0.98	1.7
12月	0.47	0.14	0.31	0.40	0.17	0.28
1月	1.2	0.78	0.47	0.47	0.61	0.80
2月	1.9	2.0	1.5	1.5	1.4	2.7
3月	1.3	1.6	1.7	1.6	2.2	3.0
最大値	4.9	2.8	2.5	2.5	3.3	3.2
最小値	0.47	0.14	0.31	0.40	0.17	0.28
平均値	1.8	1.6	1.4	1.3	1.5	1.9

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (25) カドミウム及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.094	0.093	0.10	0.12	0.14	0.12
5月	0.13	0.16	0.10	0.091	0.12	0.12
6月	0.25	0.29	0.33	0.27	0.35	0.35
7月	0.14	0.16	0.18	0.15	0.22	0.16
8月	0.11	0.093	0.084	0.13	0.098	0.095
9月	0.10	0.15	0.13	0.12	0.14	0.16
10月	0.16	0.21	0.21	0.14	0.14	0.11
11月	0.12	0.12	0.16	0.12	0.13	0.15
12月	0.054	0.039	0.080	0.043	0.041	0.058
1月	0.22	0.21	0.18	0.18	0.16	0.22
2月	0.10	0.11	0.089	0.14	0.090	0.15
3月	0.15	0.11	0.14	0.14	0.23	0.18
最大値	0.25	0.29	0.33	0.27	0.35	0.35
最小値	0.054	0.039	0.080	0.043	0.041	0.058
平均値	0.14	0.15	0.15	0.14	0.15	0.16

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (26) 鉛及びその化合物

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.9	3.0	3.1	2.7	3.9	3.6
5月	2.4	3.7	3.7	2.4	4.1	4.9
6月	7.5	8.5	8.0	8.1	11	12
7月	6.0	5.6	9.3	7.0	9.5	10
8月	3.6	3.7	3.9	4.3	6.4	6.3
9月	4.6	3.1	4.9	7.7	4.9	7.8
10月	4.5	5.6	6.4	4.6	5.3	5.2
11月	4.6	3.9	6.0	4.1	6.0	8.1
12月	1.5	1.2	3.1	1.5	1.8	2.4
1月	5.3	3.9	3.5	2.6	3.4	5.9
2月	4.7	4.7	6.3	5.3	31	12
3月	3.8	3.8	5.2	4.0	7.0	8.2
最大値	7.5	8.5	9.3	8.1	31	12
最小値	1.5	1.2	3.1	1.5	1.8	2.4
平均値	4.3	4.2	5.3	4.5	7.9	7.2

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

## (27) 浮遊粉じん

(単位: μg/m<sup>3</sup>)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	45	36	36	38	49	41
5月	33	41	21	22	21	38
6月	34	43	34	35	58	64
7月	41	50	63	42	72	69
8月	24	28	21	23	25	39
9月	15	23	28	21	30	38
10月	33	38	44	36	45	40
11月	32	35	27	27	32	45
12月	8.3	5.9	8.3	5.8	6.7	11
1月	31	31	21	22	27	32
2月	37	34	31	27	37	51
3月	29	33	37	32	54	72
最大値	45	50	63	42	72	72
最小値	8.3	5.9	8.3	5.8	6.7	11
平均値	30	33	31	28	38	45

\*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

※ NDを付した測定値は検出下限値の1/2(これを平均値算出に用いている)

※ 最大値・最小値が検出下限値未満の場合は「&lt;検出下限値」として表示

表 I - 1 1 調査時間帯の気象データ

(1) 天候

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
5月	曇のち晴	曇のち晴	雨のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴
6月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
7月	曇	雨のち曇	曇	曇のち雨	曇のち雨	雨
8月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
9月	曇のち晴	曇のち雨	曇のち雨	雨	曇のち雨	晴のち雨
10月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
11月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
12月	雨のち晴	雨のち晴	雨のち晴	雨のち晴	雨のち晴	雨のち曇
1月	曇のち晴	曇のち晴	雪のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴
2月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3月	晴	晴	晴	晴	曇のち晴	晴

(2) 主風向

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	W	NNW	NW	WNW	N	NW
5月	WNW	NNW	N	NNE	NNE	N
6月	E	E	ESE	ESE	NNE	ENE
7月	ENE	CALM	SE	E	CALM	SSE
8月	ENE	E	ESE	E	NNE	SE
9月	WNW	CALM	NNW	NW	NNE	NW
10月	WNW	NNW	SSE	NW	SSW	S
11月	W	CALM	ESE	NW	NNE	CALM
12月	CALM	NW	NNE	NE	NNE	NNE
1月	WNW	CALM	NW	WNW	CALM	CALM
2月	NW	NW	NW	WNW	CALM	SSE
3月	WNW	NW	NNW	NW	NNE	WNW

(3) 風速

(単位: m/s)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.0	3.4	2.1	4.0	0.9	2.4
5月	0.9	1.2	1.6	1.5	1.0	1.0
6月	1.1	1.0	1.6	2.2	0.7	1.6
7月	0.8	0.6	1.0	1.5	0.5	1.0
8月	1.3	1.1	1.4	2.1	0.8	1.5
9月	0.8	1.0	1.1	1.2	0.6	1.0
10月	1.0	0.9	1.5	1.4	0.9	2.1
11月	1.7	0.9	1.2	1.5	0.7	1.0
12月	0.7	1.1	2.3	2.7	2.5	2.2
1月	2.0	0.7	1.5	2.1	0.4	0.8
2月	2.2	1.4	1.7	2.6	0.8	1.5
3月	3.0	2.1	1.4	2.1	1.1	1.1

(4) 気温

(単位: °C)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	19.4	-	-	18.4	19.5	20.2
5月	19.4	-	-	17.2	17.6	17.2
6月	24.8	-	-	23.4	25.1	26.1
7月	26.0	-	-	25.3	26.3	26.6
8月	29.8	-	-	28.5	30.6	31.4
9月	18.9	-	-	18.7	20.3	20.9
10月	23.8	-	-	22.9	24.5	25.0
11月	14.9	-	-	13.7	15.8	16.1
12月	9.3	-	-	8.7	9.2	9.3
1月	0.7	-	-	-1.9	-0.7	-0.5
2月	5.4	-	-	4.8	5.9	6.2
3月	11.5	-	-	9.9	11.6	12.0

## (5) 湿度

(単位: %)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	17	-	-	12	19	18
5月	75	-	-	84	88	94
6月	56	-	-	51	55	54
7月	85	-	-	83	79	83
8月	71	-	-	67	64	66
9月	93	-	-	88	83	83
10月	68	-	-	68	73	72
11月	58	-	-	53	55	57
12月	85	-	-	85	80	86
1月	70	-	-	84	83	83
2月	47	-	-	37	47	48
3月	46	-	-	39	47	47

## (6) 雨量

(単位: mm)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学*2	草加花栗	戸田美女木
4月	0	-	-	0	-	-
5月	0	-	-	1.5	-	-
6月	0	-	-	0	-	-
7月	0	-	-	0	-	-
8月	0	-	-	0	-	-
9月	17.5	-	-	14	-	-
10月	0	-	-	0	-	-
11月	0	-	-	0	-	-
12月	2	-	-	7.5	-	-
1月	0	-	-	1	-	-
2月	0	-	-	0	-	-
3月	0	-	-	0	-	-

## (7) 気圧

(単位: hPa)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1015.1	-	-	-	-	-
5月	1009.8	-	-	-	-	-
6月	1014.4	-	-	-	-	-
7月	1004.4	-	-	-	-	-
8月	1003.3	-	-	-	-	-
9月	1010.5	-	-	-	-	-
10月	1018.9	-	-	-	-	-
11月	1012.5	-	-	-	-	-
12月	1021.8	-	-	-	-	-
1月	1015.9	-	-	-	-	-
2月	1010.8	-	-	-	-	-
3月	1004.4	-	-	-	-	-

出典: (1) 天候は測定者によるもの、(2) 主風向 ~ (7) 気圧は以下の1時間値データを基に算出した測定時間中の平均値(主風向は最頻値)

(無印) 埼玉県大気汚染常時監視システム

\* 1 気象庁ホームページ

(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

\* 2 埼玉県環境科学国際センター観測データ